



議会だより

第36号

2015・10・27

9月定例会

一般質問

2~3頁

委員会審議

4~11頁

議員研修・議会のうごき

12頁

町政のことこが聞きたい



二川 真二
議員

で、あらかじめご承知願いたい。

質問

町から補助金を支出されている団体や個人、また事業について、私も含めて

町民の多くの方が把握出来ていないのではないかと思っている。

そこで本町が補助金を出していいる団体数及び事業数はどのくらいで、全体の補助金額及びその特徴や傾向について伺う。

答弁

兼西町長

当然、一部

事務組合への負担金や審議会、また

国・県を経た補助金を除きながら、町単独の補助金についてのみお答えする

性と公平性が確保出来る前例にとらわれない客観

質問

補助金については、基本

答弁

兼西町長

平成27年度の補助金支出予定総額は2558万5千円となつていて、また、86団体のうちイベントなどの事業を実施している実行委員会などへの補助は8事業である。全体の約半数にあたる41%が教育関係団体といふことで、この傾向はどの自治体も似通つた状況にあると考えている。

また、86団体のうちイベントなどの事業を実施している実行委員会などへの補助は8事業である。その貴重な財源を使用して支出している補助金が適正かどうかをどのようにチェックしているのか。

また、合併後10年が経過し、おそらく何らかの形で見直しは行われてきたと思うが、今後の補助金の見直しについてどのような見解を持っているのか。

まず、町が補助金を支出しているのは、交通安全推進団体をはじめとして、地域づくり、経済活動、公益的産業、社会教育・学校教育関係団体など86団体である。平成27年度の補助金支出予定総額は2558万5千円となつていて、また、86団体のうちイベントなどの事業を実施している実行委員会などへの補助は8事業である。

事業の効果、また成果が明確でなければならない。

事業の効果、また成果が明確でなければならない。

つるぎ町発足当初、補助金の一率5%削減を実施し、一定の経費節減効果を得ることができたが、今後も各団体の経営内容を十分把握すると共に、事業の必要性、また効果や公益性を十分精査しながら、必要などころには思い切った補助を実施するなどのメリハリのある予算配分に心を用い、最大の効果を見い出していきたいと考

べていている。

規則」に規定されている補助金交付申請に基づいて交付している訳であるが、事業終了後は実績報告書を提出していただき、事業の実施状況や補助金の活用実績、成果などを確認している。

質問



小野 誠治
議員

避難したい一人暮らしの高齢者について、連絡体制や意思疎通、そして避難手段等はどのようについているのか。

答弁

兼西町長

一人暮らし高齢者への連絡や避難体制についてあるが、今年7月16日の台風11号襲来においては、大雨・洪水・暴風警報が発表され「土砂災害」の危険性が高くなり、また、大規模な範囲で停電が発生したために、「避難準備情報」「避難指示」等を発令し住民に避難を促した。町内14箇所の避難所を開設したところ、延べ84世帯、124名の住民の方が避難された。

避難時に問題となるの

が、お体の不自由な方や1人暮らしの高齢者の方など、避難に何らかの支援が必要な災害弱者と呼ばれる方の避難対策である。先ほど申しした「避難準備情報」は、こうした災害弱者の方々に対し早め早めの避難を呼びかけるための情報となっている。

本町では、1人暮らしの高齢者など災害時に自力で避難することが困難な方に対し、「民生児童委員協議会」や「町社会福祉協議会」や「自主防災組織」と連携を図り、災害情報の伝達、安否確認、避難誘導などの支援活動に協力をお願いしているところである。

今後とも引き続き関係機関と密接な関係を築き、避難対応はもとより災害時の体制強化を図りたいと考えている。

質問
山間部の休廃校になつ

た校舎が避難所になつてゐる地区では、校舎 자체が老朽化しており、雨漏りが酷くハード面で不安を抱えている地区があるが、そのような避難所施設を把握しているのか。

また、改善が必要な施設については改修していく計画があるのか。

答弁 兼西町長

現在、つるぎ町が指定している避難所数は、各集落の集会所や休廃校の校舎等を含めて約100箇所ある。

避難所の雨漏り等の修繕については、財政状況を考慮し、優先順位を付け

て、適切な維持管理・修繕を実施していきたいと考

えていた。

ための「行動計画」を展開していく必要があると考

めている。

質問
美馬市、三好市、東みよ

し町との協力体制は。

質問

兼西町長

2市2町は、同様の傾向でいているようである。

更にその地域から観光や他の産業に繋げていく

ような取り組みは考えて

いるのか。

つるぎ町貞光の猿飼地

域のそば畑に賛辞をいた

だいているようである。

斜地での農業が息づき、さ

らに農業文化資源が豊富

である。なお、「にし阿波觀光圏」として協力体制を築

いているが、一方で、それ

ぞれの温度差があること

も否めない。

答弁 兼西町長

つるぎ町として私が会

長を仰せつかつて「徳島劍山世界農業遺産推進

協議会」の組織を十分活

用しながら、認定のあかつ

きには、つるぎ町がシンボ

ル的な場所としてリード

牽引していくことが、本町

の各種産業へのプラスにな

ると考えている。現在、県

と徳島大学などの参画に

よつて、四国初の世界遺産

ブランドの獲得を目指し

併せて、平成28年度に「公共施設等総合管理計画」を策定し、長期的視点に立つた老朽化対策を立て、立った老朽化対策を立

か、当地域の活性化を図る

きたいと考えている。

事業やシンポジウムの開催などを実施しているほか、当地域の活性化を図っている。

質問
佐藤千代美議員



佐藤千代美
議員

文教厚生常任委員會

文教厚生常任委員会では、主に教育、福祉、保険及び病院等に関する議案を審査します。

森長秀行 副委員長
小野誠治 委員
佐藤千代美 西谷一廣 小坂重夫

9月8日開催

7月16日から17日にかけての台風11号の被害は、現在運営している学校及び休校や廃校の施設にも被害をもたらしたが、地域の方々や職員により修繕した箇所もあつた。今回、修繕の緊急性があつたのは、半田小学校の門扉と半田小中学校の国旗掲揚棒の改修である。工事にあたつては学校からの要望も取り入れ改修を行つた。

委員会での審議

承認第4号

いて 専決処分の承認を求めることにつ

質疑（小坂）

平成27年度つるぎ町一般会計補正予算(第3号)

質疑（小坂）

平成27年度つるぎ町一般会計補正予算(第4号)

移

学校管理費の施設修繕費は台風被害による半田小学校門扉と国旗掲揚棒との説明だつたが、被害は他に

答弁

なかつたのか

答弁

今回の補正における介護保険特別会計繰り出し金480万円の財源と現在における要介護認定者の推

質疑(小野)

■全国保育研究大会の内容は

答弁

来年度徳島県において全国保育研究大会の開催が決定している。この研究大会の実行委員によるぎ町も3名要請されていることから徳島県保育事業連合会として本年11月、山口県で実施される研究大会に一緒に参加するものである。

大会の内容については「すべての人
が子どもと子育てに関わりをもつ社
会の実現をめざして」基調報告を全
体会で行い、助言者を交えての意見発
表と研究討議を各分科会で実施する

■ 学校管理費の耐震改修アドバイザー委託料の内容は

委員会での議案審議



ものである。

質疑(小野)

- 町民体育祭に代わるゲーム大会の参加者は

答弁

大会に参加するチームは1チーム5名以上で、参加チームは30チーム程度を想定している。

チーム編成は職域、常会、スポーツ少年団等、どのようなチームで参加してもよい。

質疑(佐藤)

- 町民体育祭に代わるゲーム大会の周知方法と実施時期は

答弁

広報誌、防災無線、各種団体に働きかけていく。実施時期については、11月29日を予定している。

質疑(佐藤)

- 10月から予定されている中学生の学習支援はどのような形で行うのか

答弁

半田中学校と貞光中学校でそれを行う予定である。基本的には希望者であれば誰でも参加出来ることになつて

おり、学力の底上げを目指すというものである。

また、先生を科目毎に1名ずつ選んでおり、半田で3名、貞光で3名来ていてただくことになっている。時間は午後1時30分から3時50分までの2時間20分を予定している。

議案第63号

平成27年度つるぎ町介護保険(事業勘定)事業特別会計補正予算(第1号)

質疑(小坂)

- 過年度過誤納還付金42290万円の内訳はどうなっているのか

答弁

介護保険会計では、国または県等からの負担金及び交付金を実績確定後の翌年度において精算しており26年度精算残額、(国2253万円、県2006万円、支払基金31万円)を返還するものである。

承認第4号**議案第61号**

専決処分の承認を求めるについて

●専決第16号

平成27年度つるぎ町一般会計補正予算(第4号)

平成27年度つるぎ町一般会計補正予算(第3号)

内獣友会、農業従事者、林業従事者の各代表及び徳島県農業支援センター、林業・環境担当で組織され、つるぎ町における鳥獣等の農林業被害に対する方策を審議し決定する協議会である。

モンキードック事業は、営農活動に對して有害な鳥獣のうち、特に対策が困難なサル対策として導入する事業である。

質疑(小坂)

■災害によりまだ交通に支障をきたしている所があるが、把握しているのか

答弁

管理している道路が800路線あり、その内102路線の土砂の取り除き等を行つたが全ては確認がとれていない。通行に支障をきたしている箇所があれば、順次対応していきたい。

質疑(小坂)

■森林整備新規補助金の内容は

答弁

この補助金については、徳島県から認定を受けた林業事業体が、計画に基づき雇用した新規林業就業者に関する各種経費を助成するものである。

つるぎ町では、貞光地域の林業事業体が新規に雇用した5名の内2名分の経費について助成を受ける計画である。

これは、専門機関で訓練を受けた訓練犬を農業者が地域集落の同意を得た上で、必要に応じて放し飼いをすることにより耕作農地からサル等を追い払い農作物を守るというものである。本年度は、3集落で実験導入を計画している。

質疑(小坂)

■県単急傾斜地崩壊対策工事を予定しているのは何ヶ所か

答弁

現在、県に要望をあげているのは9ヶ所である。

質疑(長浦)

■災害復旧費の委託料及び工事請負

答弁

設置場所についてはゆうゆう館を予定している。設置台数は2基である。

質疑(森長)

■防犯カメラの設置場所、設置基數は

答弁

委託料については国の災害査定を受けるための測量設計委託料である。工事請負費は町道、農道とともに国庫補助の対象とならない工事を町単独で予算計上している。

答弁

■つるぎ町有害鳥獣捕獲対策協議会の構成及びモンキードック事業の内容

答弁

現在、県に要望をあげているのは9ヶ所である。

議員
小坂
長
重
夫
伊庭
英俊
長浦
英彰
副委員長
三好
昭義
齊藤
嘉文
森長
秀行
委員
員
長
長
齊
藤
森
長
秀
行

産業建設常任委員会

9月9日開催

産業建設常任委員会では、主に農林、建設、商工、観光、環境、水道及び地籍等に関する議案を審査します。



議案第64号

平成27年度つるぎ町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

質疑(小坂)

■個人の下水道への接続は、ほぼ終了しているのか。これからも接続率が伸びるのであれば汚泥の処分費も増えると思われるが、年間どれくらいの処分費が必要となるのか

答弁

現在、接続率84%、加入率87・8%である。施設の整備は終了したため、これから接続は微増になると思われる。

汚泥の発生量については、流入水の水温や水質にも左右されるため確定した数値はないが、減量化が出来るよう検討していく。

質疑(長浦)

■当初計画と現在のランニングコストの比較は

答弁

嫌気好気床法は汚泥の発生が多い処理方式であり、維持管理経費につい

ても使用料収入でまかなえている。今後も汚泥の発生が抑制できるよう、コンサルも含め環境課で検討している。

報告第5号

(株)ラ・フォーレつるぎ山の平成26年度決算及び平成27年度事業計画について

質疑(森長)

■売掛金が多い要因は

つるぎの宿岩戸についてはネット予約が全体の半分、ラ・フォーレつるぎ山はツアーカー会社予約があり、それぞれ翌月の振り込みとなるためである。

また売掛金は100%回収できている。

質疑(小坂)

■今後老朽化により修繕費が増えるのか

ラ・フォーレつるぎ山のボイラードが耐用年数を過ぎており交換しなければならない時期となっている。
交換となれば、1機当たり800万円程の費用が発生する。

議案第57号

つるぎ町個人情報保護条例の一部を改正する条例

議案第58号

つるぎ町コミュニティーバス運行条例の一部を改正する条例

ることになる。NPO法人が町で行つて、いるコミュニティーバス事業を行つたいとなれば町の方で審査してやつていけ。る。権限委譲を受けたのは全国で9自治体、四国ではつるぎ町だけである。

総務常任委員会

総務常任委員会では、主に戸籍、税務、防災、管財、出納及び他の2つの委員会(文教厚生・産業建設)に属さない議案等について審査します

9月10日開催

副議長 森長秀行	委員長 田野一二三	副委員長 谷川真二	委員 小坂上家吉田洋子	委員 吉田重夫	副委員長 吉田光子
-------------	--------------	--------------	----------------	------------	--------------

個人情報と特定個人情報は違うものか
個人情報に12桁のマイナンバーのついているものが特定個人情報と呼ばれている。
個人情報がインターネットを通して流れられた個人情報を保有するのではなくいか
インターネットは全てにつながっているのでそのような危険性はある。

■ 質疑(吉田)
情報機関がインターネットを通して流れられた個人情報を保有するのではなくいか
個人情報がインターネットを通して流れられた個人情報を保有するのではなくいか

■ 個人情報と特定個人情報は違うものか
個人情報に12桁のマイナンバーのついているものが特定個人情報と呼ばれている。
個人情報がインターネットを通して流れられた個人情報を保有するのではなくいか

質疑(吉田)**質疑(吉田)****質疑(吉田)**

■ 利用料金の全てが半額となるのか。
また、要介護者や要支援者は障がい者等の中に含まれていなかつたのか

■ 個人は登録できないのか
基本的に特定非営利活動法人に該当する人と医療法人などの国が定めている分がある。個人というのはなく、公共的な所が対象となる。

質疑(谷川)**質疑(谷川)****質疑(谷川)****議案第59号**

つるぎ町手数料徴収条例の一部を改正する条例

つるぎ町手数料徴収条例の一部を改正する条例

つるぎ町手数料徴収条例の一部を改正する条例

つるぎ町手数料徴収条例の一部を改正する条例

つるぎ町手数料徴収条例の一部を改正する条例

質疑(谷川)**質疑(谷川)****質疑(谷川)**

■ 自家用有償旅客運送の内容は

金額は国が定めたものである。来月以降、つるぎ町においては11月頃になる

この番号カードを紛失した時に、再交付すると500円が必要となる。

また、希望により顔写真付きの個人

質疑(谷川)**質疑(谷川)****質疑(谷川)**

■ 手数料金額は国が定めているのか

金額は国が定めたものである。来月以降、つるぎ町においては11月頃になる

この番号カードを紛失した時に、再交付すると500円が必要となる。

また、希望により顔写真付きの個人

今年4月に国から権限委譲を受け、
コムニティーバス等、市町村の有償の登録事務が町で出来るようになつた。

それによりコムニティーバスのスマートな変更ができる。

また、福祉有償運送がありNPO団

体が福祉有償運送をやりたいとなれば走れ

交通会議等を開き了解出来れば走れ

思つてゐる。

質疑(谷川)**質疑(谷川)****質疑(谷川)**

今年4月に国から権限委譲を受け、
コムニティーバス等、市町村の有償の登録事務が町で出来るようになつた。

それによりコムニティーバスのスマートな変更ができる。

また、福祉有償運送がありNPO団

体が福祉有償運送をやりたいとなれば走れ

交通会議等を開き了解出来れば走れ

思つてゐる。

100%保護を目指しているが、常に更新を加えながら進めていきたいと思つてゐる。

この番号カードを紛失した時に、再交付すると500円が必要となる。

また、希望により顔写真付きの個人

いるコムニティーバス事業を行つたいとなれば町の方で審査してやつていけ。る。権限委譲を受けたのは全国で9自治体、四国ではつるぎ町だけである。



委員会での議案審議

番号カードに交換することができる。
そのカードを紛失した時に、再交付す
ると1000円が必要となる。

議案第61号

平成27年度つるぎ町一般会計補正予
算(第4号)

■ 高額療養費システム使用料とは、新た
にシステムを導入するのか

質疑(谷川)

■ コミュニティーバス運行範囲拡大地域
は

答弁
半田折坂・日谷尾地区運行日に高清
地区(高清東、中・西地域)を追加運行す
る。

質疑(吉田)

■ 災害用備品購入は自主防災組織に配
付するものなのか

答弁
全ての自主防災組織には、すでに発電
機、ヘルメット等の備品は配備している。

今回の備品購入は中学校の生徒・先生、
240名分の避難用ヘルメットの購入、
また必要な時に避難所などに貸し出す
備品購入である。

議案第62号

平成27年度つるぎ町国民健康保険
(事業勘定)事業特別会計補正予算
(第2号)

議案第65号

物品購入契約

■ 宝くじの助成は町からの申し込みによ
り申請するのか

答弁
基本的に地域のコミュニティーについて
助成することになつておらず、全額補助で
ある。

希望があれば申請し、採択を受ける
と補助金を受けられる。

認定第1号

平成26年度つるぎ町一般会計歳入歳出決算及び特別会計歳入歳出決算認定について

また法人町民税についても廃業をしている等の事業所を洗い出し収納不可能な事業所について欠損を行っている。

たケーズはあるがトラブル等は発生していない。

額の減少も見込まれ、については不納欠損額も減少すると見込まれる。

●介護サービス事業特別会計決算
質疑(伊庭)

なお、平成26年度の滞納整理機構への移管及び収納額は、委託金額561万5千円、移管合計額634万6千円、収納金額385万6千円、徴収率60.76%である。

●介護サービス利用者の今後の推移は高齢者人口は減少しているが、認定者数は、ほぼ横ばいで推移しているため例年並みの利用状況が続くと思われる。

●平成26年度つるぎ町一般会計歳入歳出決算

質疑(小野)

■来年度、火葬場の運用が始まるが、人件費や材料費が上がる等の要因で事業費が増えることはないのか

答弁

工事費については多少の変更はあるが、大きな変更は、今のところ聞いていない。

質疑(伊庭)

■地方交付税が毎年減少していくようだが今後の推移は

答弁

地方交付税は一般財源として活用されている。平成23年度当時は27年度から5年間で9億円以上の金額が減らされるという数字であったが、平成27年度現在の見込みでは6億円余りと考えている。

質疑(吉田)

■不納欠損額の内容は

答弁

平成26年度において不納欠損を行つた町税は平成21年度課税分が主である。

現在のところ制度への説明を求められていません。

いか

●農業集落排水事業特別会計決算
質疑(伊庭)

●機能診断・最適化構想は何年毎に行

決算審査専任委員会

決算審査専任委員会では、一般会計・特別会計・公営企業会計の決算に関する議案を審査します。

9月11日開催

委員長

吉田 光子

副委員長

佐藤 千代美

委員

伊庭 英俊

西谷 一廣

齊藤 嘉文

森 誠治

副議長 秀行



答弁

供用開始して10年経過したため、機器の状況確認及び今後の修繕計画をたてることにより、施設の長寿命化を行うものであり、今回のみである。

●特定環境保全公共下水道事業特別会計決算

質疑(伊庭)

■ポンプ場の残工事はあるのか

答弁

本年度の二期工事で最終となる。

質疑(吉田)

■農業集落排水と下水道の料金体系はどうなっているのか

答弁

どちらも同じ料金体系で、基本料金が1290円／ 10^3m^3 で 1^3m^3 超過する毎に151円加算される。

●後期高齢者医療特別会計決算

質疑(佐藤)

■後期高齢者医療の現状は

答弁

平成26年度末の被保険者数は昨年度と比較して48名減少し、2597名となつてている。しかし、一人当たりの支給額は昨年度より約4万円増加し約84万円となつてている。

認定第2号

平成26年度つるぎ町公営企業会計歳入歳出決算認定について

●つるぎ町病院事業会計決算

質疑(佐藤)

■医療機器は、新しいほど正確な情報が得られ、より良い医療等が提供できると思うが、購入には大きな負担が必要となる。どうしているのか

答弁

基本的には使える間は使用する方針である。ただし、医療の提供に支障がるもの、更新時期が訪れたもの等は医師ともよく費用対効果を検討、協議し購入を決定している。

●水道事業会計決算

質疑(吉田)

■水道管布設替工事の内容は

答弁

半田地区においては、昭和63年から平成12年の間で鉄管への布設替工事を行つた。貞光地区においては、平成10年から13年にかけて、また、下水道事業の補償工事に併せて布設替工事を行つた。今後も耐用年数等により布設替が必要になるとつていている。



新火葬場現場視察

平成27年8月4日(火)、新火葬場「せせらぎの風」現場視察(コンクリート打設済箇所の型枠解体、基礎部分のコンクリート打設、配筋配管作業)を行いました。

西松建設現場監督から工事の概要説明、それぞれ行われている作業内容について細かく解説がありました。その後現場を確認して回りました。



庁舎耐震改修視察研修



平成27年10月1日(木)、神山町役場と石井町役場へ庁舎耐震対策の視察研修を行いました。来年度計画している庁舎耐震改修について大いに参考になりました。



表紙の写真・貞光川堤防のコスモス

貞光川河口近くJR鉄橋南西の堤防には色とりどりのコスモスが見頃を迎えています。これは、地域住民が丹精込めて作り上げたコスモスで、毎年可憐な姿で訪れる人や、散歩される人を癒してくれています。

議会の動き

8月4日	新火葬場現場視察
8月31日	議会運営委員会
9月7日	第3回定例会開会本会議
9月8日	文教厚生常任委員会
9月9日	産業建設常任委員会
9月10日	総務常任委員会
9月11日	決算審査常任委員会
9月18日	第3回定例会閉会本会議
9月28日	四国四県町村長・議長大会
10月1日	府令耐震改修視察研修
10月14日	議会広報編集常任委員会